



かえでゆうびん 10月

2019年10月1日
社会福祉法人 清松学園
幼保連携認定こども園 かえで保育園
園長 引地 美津代

いよいよ無償化がスタートします。3歳以上の方は給食費のみとなりますが、今までお支払いいただいた保育料はどうぞほかの用途に使われず、そのお子様の将来の夢をかなえる準備として蓄えていただきたいと思います。ひとりのお子様は成人するまで公立で1000万円、私立だと2500万・すべて私立だと2700万といわれます。これはあくまでも教育費です。その他の生活費や医療などを入れると1500万は別途必要となります。これから学校も無償化になるといわれていますが、現実に行われたらよいですが。保育料無償化なんてまだまだ先のことだと思っておりましたが、現実スタートとなりました。これを機に保育料無償化により軽減された費用のことから子供の将来のこと、ご自分の先のこと、家族で相談をして考えてみてくださいね。

さて、暑い！暑い夏がようやく落ち着き、それは鱗雲が広がり秋の空となってきました。今年の夏も異常な気温・湿度でいつものような水分補給では追い付かないほどの日が続きました。かえで保育園では独自に対策として、暑さ指数を一日3~4回回り、園庭に出る時間やクーラーの温度を考えていました。また、7月からは、離乳食以外の子どもたちには10時前後に塩分補給として「チーズ」を提供していました。まだまだ、陽射しはきつく日中は汗ばむことも多いです。子どもの体力の確保のため、運動発表会まで「チーズ」を提供します。これは塩分とエネルギー補給ですが「朝ごはん」の代わりにはなりません。これからの季節、外遊び。園外保育に多く出かけます。朝は腹持ちの良いものを食べさせてあげてくださいね。

9月、保護者の方より園での様子が伝わらないことがあるというご意見をいただきました。幼児は開園当初から異年齢保育を進め、昨年度も異年齢での過ごしを中心に生活しています。担任だけでなくフロアの職員よりできるだけ詳しく様子をお伝えしていましたが、的確な申し送りができていなかったようです。そこで9月の職員会議ではかえで保育園の遊びと生活の問題点を出し合いました。

子供たちの一日で何に興味があり、何に困っているか、それぞれの立場から出し合いました。結果、午前午後の遊びの見守りや子供の過ごした内容、食事の進め方、水分補給のタイミング・衣服の着替え・ロッカーの整理・ノートでの伝言の仕方などを保護者にできるだけ詳しく伝えることを心掛けること。また、さらに職員全体で共有していくことを深めたいと思っています。ですが、複数担任の乳児のひとり一人のノートの記載ですが、保護者の方々との交換ノートとしての位置づけではなく、話せなかったことを中心に記載し、できる限りお迎えの際に話をさせていただきたいと思っています。めばえぐみも半年が過ぎ、職員との関係もできつつあります。出来るだけ活字でのお伝えではなくお顔を見て一日の様子をお伝えしたいと思います。

19日には運動遊びの成長をお伝えする「うんどう発表会」があります。毎日かえでの環境で裸足で過ごすお子様の体幹の成長や友達とともに取り組む姿など園生活から培われた成長をお伝えします。今年は乳児は保護者中心・幼児は異年齢での取り組みを中心にプログラムを組み立てています。どうぞお楽しみに！！

ダンディタイム予定 10月26日(土)
17:00~19:30まで
ピタゴラススイッチの補修・丸太のベンチづくり
かえでカフェ
16:00~17:45
Show・mewを各自で踊る
ランチルーム



ダンディの活動

にこにこメッセージ

9月に入っても暑さは続き、日本中のあちらこちらで台風や大雨による被害が見られ、
昨年と同様に起こった台風のことが思い出されました。

千葉で起きている停電、その他にも大きな被害に遭われている方が多くいらっしゃいます。
生活になくってはならない電気等、早く復旧されることを願います。

乳児クラスのお子さまの「食べること」について、保護者の方とお話することがありま
した。最近、朝食をあまり食べなくて時間もかかるとの様子。メニューはパン・野菜や果物
など食べやすいものを中心に準備し、いつもそばで見守っていましたがいつしか食べること
に

時間がかかるわが子に「早く食べて」と時間ばかりが気になるようになったようです。

お母さんはトーストとコーヒー、お父さんはコーヒーだけの朝食、栄養のあるものを
わが子には食べさせてあげたいと思いながらもうまくいかない日々に悩まれていたよう
です。忙しい平日に優先するのは手際よくおなか持ちの良いものを選び、「休日には家族で栄養
のある朝食を」まずはお母さんの心のゆとりを優先して下さい。とアドバイスさせて
頂きました。

私の話がお母さんの心のゆとりになればうれしいです。お母さんの笑顔やゆとりは子ども
にとっては心の栄養となります。お腹も心もほっこりした1日がスタートできますように。
そして朝ごはんはおなか持ちの良いものを楽しく食べることを習慣づけてあげて下さい。

夏の終わりを感じ、涼しくなってきましたね。秋の訪れにわくわくしながらも、寂しさも感
じています。最近では、幼児さんと「星」について調べることが多くなり、図鑑を見ながら様々
な星や星座があることにあらためて気づきました。誕生日で「〇〇座」が決まりますが、星座
は誕生月と同じ季節に夜空に見える訳ではないと知り、見える季節や神話を調べるようにもな
りました。子どもから生まれた「星」のプロジェクトですが、「もっと知りたい」という気持
ちは私も子ども同然で、つい一緒になって楽しんでます。夏が終わったら秋の星座が見える
ことを楽しみに、秋を満喫していきたいと思えます。

ちなみに今の季節は「ペガスス座」や「カシオペア座」「みずがめ座」が見えるそうですよ。
季節の良いこの時期、親子で星空をお楽しみください。

乳児リーダー 谷角 早紀

私事ですが、先日海外へ旅に出ました。ほとんどプランを決めずに向かったのですが、友人は英語が堪能なためレストランのオーダーやホテルのチェックインなど全て任せおかげで安心して旅を楽しめました。

しかし現地の方とコミュニケーションが取れないことに少し寂しさもあり、

“同じ言語が話せればなあ…”と感じる場面もありました。

ある朝のこと、少し時間があつたので一人でカフェへ出かけてみることにしました。

そわそわしながら席を確保し、オーダーへ。お店の方が何と言っているのかは分かりませんでした…自分の伝えようとしていることが伝わった時、そして頼んだものが出てきた時に嬉しくてたまりませんでした。

自分の伝えたいことが伝わらない悔しさ、もどかしさや歯がゆさ等は子どもたちにも通じるものがあるのではと思います。大人になり感情を言葉で伝えられるようになった今、子どもの立場になり人との関わりを考えるきっかけとなりました。

まだ言葉が上手く出てこずに表情や泣き声で感情を伝える小さな子どもたちには、少しずつ、少しずつ、伝わる喜びが感じられるように関わっていきたいです。

河本 彩奈

【 今月の先生コーナー 】

10月に入り、いよいよ秋がやってきますね。秋と言えば「食欲の秋」や「スポーツの秋」と様々な言葉が言われますが私は今年、「読書の秋」を充実させたいと思います。もともと小さいころから本を読むことが好きで、休みの日には父に本屋に連れていってもらい夢中になって読んでいました。しかし大人になるにつれ時間がない、友達と遊びたい、、そんな理由で少しずつ本を読む機会がなくなっていました。しかし先月実家に帰った際、ふと目についた本棚から久しぶりに1冊取り出すと昔の感覚が戻ったようにいつの間にか夢中になって読んでいる自分がいました。現実では決して味わえないことが本の中では自分もさも体験しているような不思議な感覚に、わくわくとドキドキといった様々な感情でいっぱいになっていました。

保育の中で子どもたちに絵本を読んでいると、こちらを見ている子どもたちの目がとても真剣なことに気がきます。読んでしまえば短い時間かもしれませんが、その時間は子どもたちにとっては絵本の世界に入り込んでいるとても大切な時間だと改めて感じます。そんな時間を今後も大切に、一緒に楽しんでいけたらと思います。またみなさんのお気に入りの一冊がありましたら、ぜひ教えてください。

高田 奈沙

～めばえぐみ～

ねらい：「いろいろなものに触れてあそぶ」

う た：「おおきなくりのきのしたで・トウキョウトニホンバシ」

少しずつ自分で歩くことが出来るようになってきました。保育者に手を引いてもらいながら歩いたり、ご飯の時間に名前を呼ばれると机まで自分で歩いたりするお友だちもいます。また昼食やおやつの中には手を合わせて挨拶ができるようになったり、エプロンを自分でつけようとしていたりしています。自分でお汁やコップを持ったり、ご飯やおかずも手づかみでもりもりたくさん食べています。

～すべり台のしいな～

園庭で滑り台を保育者と一緒することで自分でも滑る事ができるようになり最近はお外にですとすぐに滑り台に向かいます。

室内に出すと初めは「これなんだ？」と座ってみつけていました。保育者が階段のところに手を置きのぼってみると、子どもたちも真似をして次々に登り始めていました。

階段から登るのだけでなく滑る方から登ってくるお友達もいて、「あれ？」と顔を見合わせることも…。

中には一番上まで登ったところで「どうやったら下りれるのかな」と手や足を伸ばしてみたりするお友達もいました。

初めは不安そうだったお友達も他の子の遊んでいる様子を見てどんと後につづき、「ぼくも！わたしも！」と楽しくなってくると身体をいっぱい動かして遊んでいました。



～片栗粉粘土～

初めての片栗粉粘土に「あれ？いつもの水と違うな～」とじーっと見つめてる子どもたち。

しかし保育者が触って「みてみて」と声を掛けるとゆっくりと手をタライの中に入れてぴちゃぴちゃと音を楽しんだり、手にくっつくことにびっくりして慌てて手を左右に振ったりしていました。また丸めた粘土を渡すとツツツと触ったり、投げて遊んでみたりと思いつきに楽しんでいました。

別の遊びをしていた子も友達が触っているのをみると自分から「なにしているの」と近づき手を伸ばしたり、楽しくなってくると顔や身体が片栗粉だらけになるほど、夢中になっていました。



“担任の思い”

入園して半年以上が経ち…興味の範囲もぐんと広がってきたと感じます。

棚のところや布に顔を隠して「いないあなばあ」と保育者や友達にしたり、友達が遊んでいると後ろから、ぎゅーっとしたり、「なにしてるの」と近づいてきて「ちょーだい」と手を伸ばしたりしていました。また園庭出る際には自分の帽子だけでなく、お友達の帽子を手に取り「どうぞ」と渡してくれたりとお友達にも興味を持ち始めています。

これからも元気いっぱいお友達と一緒にたくさんいろいろなものに触れて遊んでいながら大きくなっていく姿を見守っていきたいです。

～いたばぐみ～

ねらい：「友達と手を繋いで散歩に行く・秋の自然に触れる」

う た：「とんぼのめがね」「どんぐりころころ」 わらべうた：「このここのこ」

9月になってもまだまだ暑い日が続いていますが、少しずつ風が気持ちよくなり涼しい日も増えてきましたね。朝や夕方には園庭に出て遊んでいるのですが、準備が出来たら子ども達同士で名前を呼び合って「一緒にいこ」と手を繋いで園庭に出て行きます。友達と一緒に過ごすことが楽しくて仕方のないようで、毎日遊んでいます。

ことばがどんどん増えてきて、保育者や友達に自分のやりたいことや嫌なことを話せるようになってきました。遊びの中でも友達とたくさん会話をしていることが多く、こっそり聞いているとおもしろい会話が飛び交っています。ある日の室内遊びでの子ども達のやりとりを紹介したいと思います。

【ままごとコーナーにて】

Aちゃん「じゃあ、にんじんとブロッコリー下さい」

Bちゃん「はい」と探して、持って行く。

Aちゃん「これ、ちがう」持ってきたものを返す。

Bちゃん「じゃあ、これ」

Aちゃん「これ、ブロッコリーちがう」また、返す。

Bちゃん「はい！」緑色のおもちゃを持って行く。

Aちゃん「ブロッコリーあったやん！」と嬉しそう。

Aちゃんの中では、どれでもいいではなく、ちゃんとこれがいいという思いがあって遊んでいるのですね。

Bちゃんも何度も持ってきてくれて、最後は2人で嬉しそうに食べていました。

“先生みてみて！！”

園庭では、小さな石やオリーブや葉っぱなど友達と一緒に集めるという遊びを楽しんでいます。バケツやコップの中に大事そうに入れて持っていたり、部屋に入って着替えているとポケットの中から色々なものが出てきたり・・・私たち保育者からすると何でもないものでも、子ども達にとっては宝物のようです。涼しくなってきたら公園にも出かけて、どんぐりや葉っぱを集めてみたり、葉っぱの上を歩く音を楽しんだり、匂いを嗅いでみたり・・・たくさんの秋に触れて遊んでいきたいと思っています。



“担任の思い”

自分の気持ちをことばにして伝えることで、相手に伝わる心地よさや自分の思いに応答してもらえる心地よさなどを感じてくれたらいいなと思っています。まだ、全部をことばに出来ない子もいますが、表情や態度などで必死に伝えようとしてくれています。子ども達の一生懸命伝えようとしているサインを見逃さずに、思いを言葉にする手伝いをしながら、子ども達との会話を楽しんでいきたいと思っています。

原田 千尋・林 千紗・小板橋 円香

ねらい：「秋の自然に触れたり、身体を動かして遊ぶことを楽しむ」

うた：「どんぐりころころ・きのこ・いっぴきののねずみ」

朝晩は肌寒くなってきましたが、日中は先生や友だちと追いかけてっこをして身体を動かすことを楽しんでいます。築山の上で寝ころびながら心地よい風を感じる子ども達を見て、保育者も思わず一緒に寝転んでしまいそうになります。人形の赤ちゃんを優しく抱っこをしてお世話をしたり、ままごと遊びでピクニックが始まったりと会話を楽しんでいます。遊びの会話の中にも友だちと関わりたい姿が見られるようになってきました。

『どうしましたか』

ままごと遊びでは誕生会をしたりピクニックに出かけたりと子ども達の会話の中で様々なごっこ遊びを楽しんでいます。最近ではベットの寝ている赤ちゃん人形をお世話する



中で病院ごっこを始めました。白衣と聴診器を着た小さな先生の「〇〇ちゃんどうぞ」の掛け声から病院ごっこが始まります。熱を測りながら「あ～これは大変」と呟き、「ちょっと痛いですよ」と注射を持つ顔は…少し嬉しそうです。最後は「お大事に」と頭をぼんぼんと撫でる姿は本物の先生のようにです。可愛い子ども同士の掛け合い、お迎え時にこそって見てみて下さい。

やっぱり“おなか”が見てみたい

つぼみ組に大きなかぼちゃとたくさんのゴーヤが届きました。「どんな匂いするかな」「重たいね」と実物の野菜に興味津々です。そして気になるのが「かぼちゃのおなか見たい」でした。ゴーヤは洗ってから、かぼちゃは柔らかく炊いてみんなで切りました。きゅうりを繰り返し切っていることもあり「ちょっと硬いね」「ふにやっけてる」と違う



感覚も感じていたようです。かぼちゃやゴーヤの“おなか”から出てきた種にも興味が出てきたようです。ゴーヤ、かぼちゃの種を観察しながら、図鑑で野菜や果物を探したりもしています。「もしかしたらかぼちゃができるかな」と種を植えて始めました。大きくなったらまたみんなで食べたいね。

“担任の思い”

子どもたちにとって野菜への不思議は日に日に増えているようです。保育者自身も子ども達から気づかせられることもたくさんあります。普段の遊びの中でも友だちと見つけたことが嬉しかったり、考えながら協力し合うことなど“誰かと一緒に”が楽しいようです。友だちとの関わりの中で、遊びが発展し一緒に考え教え合う中で友だちの事を気にする姿も見られてきました。自ら考えてやってみたことが嬉しかったり、悔しかったりと様々な経験から共に成長する姿をこれからも見守っていきたいです。

～いぶきぐみ～

ねらい：「たくさん身体を動かしてあそぼう」

う た：「きのこ」 「こぎつね」

暑い夏が去ったかと思えばまた暑さがぶり返し体調のすぐれないお子さまも出た9月でした。しかしひと夏超えた子ども達は、声掛ける前に自分で水分補給をしたり、影でゆったりと過ごしたりすることが出来るようになってきました。涼しい日には朝から元気いっぱい園庭で追いかっこをし、友達とのやり取りを楽しみながら同じ遊びを楽しむ姿も増えました。年上の子どもたちの関りを見ながら、いぶきの子ども達でも相手の想いを考えたり、寄り添おうとする姿も見られ嬉しく感じています。

～アスターとレンゲソウ～



初夏に枝豆の収穫をして以降、いぶき組としての栽培物がなかったため、子ども達に「何か育ててみたいものはある？」と尋ねました。すると「大根」「人参」と言った野菜や、「お花」という声が聞こえてきました。以前にはまとかぜに分かれてマックスバリュにお買い物にいった経験から「マックスバリュにみにいこう」と提案する子や、花や野菜の図鑑を調べる姿もありました。調べていくうちに「次はお花がいいな」という思いが強くなってきた子ども達は、様々な本や図鑑を片手に花を調べていくのですが、なかなかたくさんありすぎて決まらず・・・園長先生にどうしたらよいか、と相談しに行く子も現れました。すると園長先生の元から帰ってきた子が何やら笑みを浮かべてみんなの所にやって来ました。すると手には4種類の種の袋が。園長先生からのプレゼントに子ども達は大喜びでどんな花の種があるのかを見て、特徴などを紹介しながら2つのお花を育てる



ことにしました。お休みの子や明日以降にお休みをする予定の子が多かったため、初めはいつ植えようか・・・と悩みましたが、「みんなで水やりを頑張るから今日植えよう」ということになり種をもらったその日にみんなで植えることにしました。どこに植えるかも子ども達で考え、レンゲソウは園長先生のアドバイスもありクローバーの近くへ、アスターはあいていたプランターで育てることにしました。その日以降、雨の降らない日は朝から水やりを欠かさず頑張ってくれています。「芽が出たかな?」「それ草だよ」「抜かなきゃ」など意欲的にお世話をしてくれており、看板作りもしました。看板はお休みをしていた子にも花の話を、協力して作りました。今は「早く大きくならないかな・・・とその成長を楽しみに見守っています。アスターやレンゲソウが咲くのはみんながひかり組になった春頃です。まだまだ先は遠いですがみんなで協力しながらお世話をしたいと思っています。

“担任の思い”

春頃は自分のことをするのにもお友達を遊びに誘うのにもドキドキわくわくしていた子どもたちが、今では自分で進んで自分のことを行おうとしたり、年上の子どもたちに声をかけ解決しようとする姿が見られるようになりました。子どもたち同士のやり取りではうまくいかないこともあります。少しずつ互いの納得できるやり取りも増えてきており今後の関係性がどう変化し深まっていくのかと今からとても楽しみです。

木下 明友美

～ひかりぐみ～

ねらい：「友だちと協力しあう」「たくさん体を動かしてあそぶ」

う た：「まっかな秋」

秋が近づき始め、空の変化や風の心地よさを感じながら体操で頑張っている鉄棒で逆上がりに挑戦したり、みんなで鬼ごっこをしたりと身体をたくさん動いて過ごすことが増えてきました。ひかり組の子ども達は、「鈴虫の音が聞えなくなった」と心配する声がありました。鈴虫を見ていると声は聞こえず、悲しくなっていたところ鈴虫の音が聞こえ、嬉しそうな子ども達でした。まだひかり組のお世話は続きます。鈴虫の声を聴きながら涼しい風にあたり、元気いっぱい遊ぶ子ども達です。

“いっぱいお出かけしたよ”



はじめてひかり組だけでお出かけをしました。場所は環境学習サポートセンターにあるミニミニ水族館。しかし、子ども達にはどこに行くかは内緒でお出かけをスタートしました。ひかり組だけのお出かけに少し不安な気持ちはありましたが、楽しみな気持ちが大きく、嬉しそうな子ども達でした。元気に歩き出しミニミニ水族館に着くと、いろんな魚に子ども達はどこから見ようか、行ったり来たりしていました。いぶきの頃から大好きなカメも

3種類ぐらいおり、子ども達はじっくりカメを眺め、中には「いっちゃんともりぴーだ」と懐かしく思う姿もありました。1人で黙々と魚を眺めている子どもや友だちと「この魚きれい」など話をしながら見ている子どももいました。

さらに9月はもう1つ、だいち組と一緒に御前浜に行きました。天気がよくお散歩日和でした。保育園からバケツを持って「何かいいものあるかな」とわくわくしながら出発でした。御前浜に着くと、クラス男女別でかけっこをしました。砂の上でもかいっぱい走ることができました。浜では、貝殻や流木をたくさん見つけました。貝殻は、ピンクや紫などきれいな貝を見つけてバケツ・袋にいっぱい入れていました。また、大きい石があるところでは、ヤドカリ・カニがいました。石を動かすと、たくさんのカニがいて、みんな驚きながらも手でつかみ、バケツに入れていました。大きさはさまざまで小さいカニと大きいカニを見つくと「親子かな」という声も聞こえてきました。「ヤドカリは手で持つと隠れるけど、海に入れてあげると出てくるよ」と教えてくれた子どももいました。帰る時間になり、生き物は海にかえしてあげました。天気がよかったので、みんな帰りはハトハトになりながらも、頑張っ歩いていました。保育園に帰ってきた子ども達は疲れていましたが、「楽しかった」と嬉しそうな笑顔が見れました。「次はどんなところに行けるのかな」とお出かけが楽しみな様子の子ども達でした。



“担任の思い”

久しぶりのお出かけが初めてのひかり組でのお出かけで、出かける前は少しドキドキしながらも、楽しみな様子でした。だいち組とのお出かけでは安心して嬉しそうな子ども達でした。ミニミニ水族館でも、御前浜でもたくさんの発見がありました。次のお出かけは誰とどこに行くのかなと、楽しみにしているので、次はつぼみ組とのお出かけにチャレンジかなと計画しています。小さい子どものお世話が好きな子ども達なので、これからたくさんお手伝いなどをしていきたいです。 松岡 桃花

～だいちぐみ～

ねらい：「自分が頑張っていることに自信をもつ」

う た：「切手のないおくりもの」

毎日一緒に過ごすなかで、友達の得意なことや素敵などところを見つけることができる子ども達。友達のいいところを見つけることができるのもみんなの素敵などところの一つですが、自分が一生懸命頑張っていることに自信を持って欲しいと考えています。10月にある運動発表会のお話を子どもたちにしたときも「すぐできるようなことじゃなくて、一生懸命頑張っているところをみてほしいね。」と子どもたちからも話が出ました。赤ちゃんの頃から保育園で過ごしてきて、だいち組まで大きく成長したみんなが、一生懸命頑張っていることに自信をもって表現できるような機会になってくれればと思います。

“昔の町を探しに行こう”



尼崎城に行ってから積み木で作っていた姫路城を一度壊して、尼崎城づくりが始まりました。シャチホコや殿様を作ったり、電車で行ったことを思い返すことで「隣に尼崎センタープール前の駅を作らないと。」と駅を作ったり、そこから一番昔にできた電車はなんだったのか調べ始めたりと、一人ひとりが「城」を中心に様々な方向に興味を広がっていきました。

尼崎城の城下町を作っていくなかで「昔の町を見たい」という思いも出てきました。そこで昔の街を探しに行こうと「大阪くらしの今昔館」まで昔の町を探しに行くことに。どこに行くかは子ども達に内緒のまま、阪神電車に乗って、地下鉄に乗り継いで、たくさんの人の中を歩いて、たどり着いた建物のなかに入っていくと、200年前にタイムスリップしたようで、昔の建物が並び、天井には映し出された広い空があって子ども達は「本物の昔の町を見つけたぞ！」と大興奮です。



町を歩いて行くと、呉服屋や銭湯、薬屋など様々なお店が並んでいて中に入ることもできました。

昔はどのような道具を使って、仕事をしていたのか、建

物はどのような作りになっているのかが気になったようで、実際に触れてみたり、質問する様子も見られました。現代では電気やガスで簡単に動かせるものも、スイッチ一つで開く扉も、昔の人は物の仕組みを考えて工夫していたことに気が付いたようです。普段の生活の中ではなかなか知る機会がないことですが、たくさんの発見があり、嬉しそうな子ども達でした。



“担任の想い”

運動発表会で一生懸命頑張っているところを見てもらおうと決めてから、本当にできるのか不安を感じる子どももいましたが、みんなそれぞれが違うことを発表するのではなく、「15人でやってみたい。バラバラは嫌だ。」と話してくれました。

みんなで相談をしてからは、子ども同士で「きっと出来るよ。」「すごい！上手！」など声を掛け合う姿も見られます。今回の行事を通して、自分一人の力ではうまくいかないことも、友達と力を合わせるとできることもあるのだと感じて欲しいと思います。

林 奈津美

保護者の方からのおはなしコーナー

入園当初は泣いてばかりだった娘ですが、今までは保育園に行くときすぐ先生に抱っこを求めたり、お友達を見つけるとじっと見つめたりするようになりました。今までしたことなかったお砂遊びや水遊びも大好きになったり、日々成長を感じています。

めばえ組 さきさん

少し前の話ですが、七夕の願い事なんてかくのー？と聞くと「ママみたいに大きな、自転車に乗れるようになりたい」そして「ママを乗せてあげる」と言っていました。ママに憧れている姿がとても可愛いなと思いました。

いぶき組 やすよさん

上の子もお世話になったので、安心して預かってもらうことができています。担任の先生は、お迎えの時に笑顔で様子を教えて下さいますし、他の先生や保護者の方々も名前を呼んだり可愛がってくれていることがとても嬉しいです。同じクラスの子達とも最近やりとりが増えてきて、成長の早さに驚きつつ微笑ましく思っています。

ふたば組 かずよさん

お風呂で顔付けや鼻ブクブクの練習をしています。毎週土曜日にあるスイミングスクールも楽しそうに通っています。

つぼみ組 ゆきさん

入園してもうすぐ6ヶ月。泣かずに保育園に行き、笑顔で遊んで遊んでいる姿を見ると成長を感じます。しかし、預けた時にバイバイされたり、迎えに行くと、なかなか近寄って来ないと寂しさも感じます。最近になり、少しずつ歩けるようになったり、「ありがとう」、「どうぞ」など出来ることが増えてきました。そんな姿やお友達と楽しそうにしているのを見ると、嬉しいです。

めばえ組 かえさん

保育園でのお手伝いやお当番を楽しみながらも「やることいっぱい大変」と言っている娘。今日もこんなお手伝いをしたよ！とたくさん話してくれます。「だいちゃん大変やなー」と私が言うと「だいちゃんしか出来ひんから」としっかりした返答。夜、お布団で私が疲れて「いいなあ、〇〇は何もしなくても帰れてー」と言う言葉に、「ママも子どもの時はそうだったでしょ、頑張っ！」と…。だいちはいちさんのママはママのお仕事。頑張りましょう。

だいち組 よりえさん

弟がイヤイヤ期に連動して少しぐずぐずすることが多い時期がありました。朝、離れることが寂しかったり、お迎えは先に来て必ず抱っこしないと怒っていましたが、私が本当にしんどくなり、子ども達のの声に反応出来なかったときには、自分の気持ちを押さえて、率先して靴を履いてくれたり、鞆を持つことができていました。行ったり戻ったりしながら成長しているんだと思いました。

ひかり組 ゆみこさん

☆お台所から☆

やっと夏の暑さからも解放され、朝夕はずいぶん涼しくなり、秋風が肌に心地よい季節となりました。本格的な秋到来ですね。秋は食欲の秋、10月の献立も美味しい秋の食材を多く取り入れて、子供たちと一緒に実りの秋を味わいたいと思います。

<9月の食育活動の様子>

- ・おやつ焼きとうもろこしに使うとうもろこしの皮むきをしました。7月、8月も取り組んでいたこともあり、子どもたちも「前よりも早くむけるようになったよ」「上からグッと引っ張ったら早くできるよ」とむいたとうもろこしを見せてくれながら話していました。皮むきを続けていると、とうもろこしのひげが気になったようで、みんなでひげを集めました。「ふわふわして気持ちいい」「食べたら美味しいのかな?」「夏にやった流しそうめんみたいだね」など嬉しそうに話しをしていた後、「このひげの数ととうもろこしの粒の数と一緒になんだよ」と子どもたちに伝えると「おもしろいな」「知らなかった」と不思議そうに話していました。
- ・おやつわらびもちをだいち組の子どもたちの目の前で作りました。わらび餅粉を見ると「わらび餅ってこんな白い粉から作るの?」と驚いていました。水を加えて混ぜながら火にかけていくとだんだん固まってねばねばした状態になってくると「すごい、固まってきた」「ねばねばしてきた」「おもしろいな」と鍋の中を覗きながら話していました。その後、一人ずつ木べらを持って順番にわらび餅を練りました。しっかり両手で持って練っていると「固くて難しい」と話していましたが「しっかり練ったほうが美味しいわらび餅になるよ」と伝えると「よし、頑張る」と言ってみんなで力を合わせて「美味しくなれ、美味しくなれ」と言って練ってくれました。
- ・ひかり組の子どもたちの前でおやつに使うひじきと高野豆腐を水で戻すところを見てもらいました。水に漬ける前と漬けた後を見ると「すごい大きくなって、手品みたい」「色も違って」と驚いた様子で話していました。又、重さを量ったり触ってもらったりして漬ける前と後で違いを体験もしました。

<10月に予定している食育活動>

- ・手作り味噌で五平餅作り
 - ・きのこをほぐす
 - ・つるむらさきのおかか和え作り
- 乳児クラスは絵本に出てくる野菜や果物を見ることなどを予定しています。

<10月の献立 旬の食材>

鮭	りんご	さつまいも	
くり	きのこ	ぶどう	柿

<かえで保育園のおすすめレシピです♪>

<高野豆腐のラスク>

【材料】

- ・高野豆腐 2枚
- ・牛乳 40cc
- ・砂糖 大さじ2
- ・バター 30g

【作り方】

- ①高野豆腐は水で戻し、水気を切って2mm幅に切る。
- ②①を牛乳に着けた後、汁気を切り、溶かしバターに漬ける。
- ③②に砂糖をまぶし、130℃のオーブンで20分、裏返して20分焼けば出来上がり



ひじきを水に漬けました



わらび餅を練りました



高野豆腐を水に漬けまし



- お弁当日を4日から30日（水）に変更しました。
- 武庫川短期大学より実習生2名を受け入れます。（21～11/1）

＜担任が移動します＞

- 幼児の木下が10月末から産休に入ります。異年齢保育を進めています。幼児フリーに小坂橋円香が入ります。3クラスの子どもたちを林・河本・松岡・小坂橋で見守ります。それに伴い11月から1歳児には安藤由佳（経験者）が担任となります。どうぞよろしくお願いいたします。

こんなことしたよ♪

9月18日～30日まで敬老週間がありました。おじいちゃん、おばあちゃんと一緒におやつを食べたり、好きな遊びをしたりと一緒に過ごす時間を楽しんでいました。短い時間ではありましたが、園での様子を知って頂けたかと思います。子どもたちとたくさん遊んで頂きありがとうございました。掲示しているお孫さんとの写真は後日プレゼントさせていただきます。



27日に人形劇団クラルテの人形劇を全園児で観劇しました。「うりこひめ」と「オオカミと7ひきのこやぎ」真剣な表情で見たり、面白い場面では声をあげて笑ったり、指差ししたりとお友達と一緒にストーリーを楽しめました。



☆お願い☆

- 衣替えする時期となりました。園で着用する衣服などの名前が記入できているか再確認をお願いします。
- 日中はまだ間長袖・長ズボンが必要ありません。上着で調整しますのでご用意ください



《10月の予定》

- 1日（火）うんどう発表会 予行①
- 9日（水）予行②
- 16日（水）用海小学校入学前健診
- 17日（木）予行③
子育て支援 smile
- 18日（金）浜脇小学校入学前健診・うんどう会準備
- 19日（土）うんどう発表会
- 21日（月）誕生会
- 23日（水）月例健診
子育て支援『育児カウンセリング』
- 25日（金）消防訓練（消防署立ち合い）と設備点検
- 28日（月）香櫨園小学校入学前健診
- 30日（水）全園児お弁当日
- 3・10・24・31日（木）体操
*17日（木）体操はお休みです
- 2（水）・28日（月）絵画

*保育参加の手紙は10月初旬に配布します。

11月の予定

8・9日（金・土）

*だいちぐみのお泊り保育

（9日は家庭保育のご協力をお願いします）